

PyroSim



A MODEL CONSTRUCTION TOOL FOR FIRE DYNAMICS SIMULATOR (FDS)

PyroSim 2008 リリースノート

PyroSim は FDS5 のためのユーザーインターフェースです。PyroSim2008 バージョンにはオンライン起動が可能な新しいライセンスシステムが採用されています。新機能としてサンプル材質集、シミュレーション中のオブジェクトと格子の無効化、起動する事象のロジック改善などがあります。完全な新機能のリストについては以下をお読みください。

PyroSim 2008.1 – July 25, 2008

このバージョンにおける新機能には以下のものがあります。

- FDS の検証と確認から収集された、材質、表面、反応のサンプル一式。データの出席は、説明 (FYI) に記述されています。これらの例は主として不燃材質 (例えば、コンクリート、鉄鋼) です。
- 性能と信頼性が向上し、および自動ライセンス可能な新しいライセンスシステムが採用されました。
- オブジェクトを無効にする / オブジェクトを有効にする 機能が追加されました。どんなオブジェクトでも、それが (使用された表面のように) 必須である場合を除き、無効にして FDS 入力ファイルに書き込まないようにすることができます。
- カスタマイズした煙の追跡に対応しました (FDS5 ユーザーマニュアルのセクション 11.3.4 煙の定義を参照してください)。
- 統計 を更新し、体積平均、質量平均、体積積分、面積積分、表面積分 といった、オプションへに対応しました。
- 追加化学種、粒子、反応、メッシュ、スプリンクラーリンクモデル、スプレーモデル、熱感知器モデル、煙感知器モデル に 説明 記入欄を追加しました。
- 障害物の特性の設定画面で ギザギザ表示 の表現が削除され、滑らかにする に変更されました。
- 新しく、FDS レコードのコピー 機能が追加されました。
- 「滑らかにする」が設定された障害物において表面の消失を許容する場合 (これは、FDS では認められていません) には警告が表示されるようにしました。
- 開口部をもたないモデルのために書かれた空の ZONE 行 (これはもう FDS に必要ではありません) を削除しました。
- 元に戻す / やり直し の項目がメニューに表示されるようになりました。
- 背景画像のメモリ使用量を抑えることにより、表示細部が消失する現象をなくしました。
- コピー / 貼り付け の性能を向上させました。
- 粒子の寿命 のデフォルト値を 60 秒に変更しました。
- 複数のオブジェクトの名前を変更する機能を追加しました。
- いろいろなダイアログを向上させました。
- 複数の 起動する事象/デバイス のために複合ロジックを設定する機能を追加しました。
- デバイスを参照している障害物を 選択 する機能を追加しました。この機能を用いて、現在モデル中のどの障害物がデバイスを使用しているか、チェックすることができます。

以下のバグ修正を行いました。

- モデル中の全ての反応を FDS ファイルに書くバグを修正しました。現在は、有効な反応だけが書かれます。
- FDS シミュレーションを実行するときのタイマーにおける問題を修正しました。
- Plot3d パラメタを記述する順序を修正しました。
- FDS 入力に [粒子燃料] 単位体積あたりの質量を記述する方法を修正しました。
- スケッチ用の格子を隠機能のバグを修正しました。
- ナビゲーション表示における SHIFT - クリック操作を修正しました。
- 無期限ライセンスの場合のライセンス注意書き表示を削除しました。
- オブジェクトをコピー (平行移動) するときのメモリークを修正しました。
- オブジェクトをコピー/貼り付け するときのメモリークを修正しました。
- メッシュおよび追加化学種の編集ダイアログは、新しいものを作成する場合には保存の再確認を行わなくしました。
- 固相の変量が現在有効な位置を FDS ファイルに出力するように、固相の変量を使用する集計を修正しました。
- PyroSim の国際的なバージョンのための表面ダイアログにおける材質層のテーブルの確認について、バグを修正しました。
- FDS の障害物レコードに同じコメント付けるバグを修正しました。以前のバージョンでは、オブジェクトのコピーを 2 つ作成すると、ツリービューに正しく表示されませんでした。現バージョンではオブジェクトが正しくツリー表示されます。
- ナビゲーション表示におけるいくつかのバグ/クラッシュを修正しました。
- 使用中の、変量を測定するデバイスを削除して他のもので取り替えた場合にクラッシュが生じるかもしれないバグを修正しました。以前のバージョンでは、FDS ファイルが書かれたとき、または古いデバイスを使用するオブジェクトの特性が開かれたとき、クラッシュが生じていました。

